

## 総務文教常任委員会

### 第三者評価が必要

行財政再構築プランは、平成17年度から21年度までの5ヶ年計画が今年度終了し、21年度の決算状況を踏まえ、全体の総括をするとの報告を受けた。自己評価での総括だけでなく第三者評価が必要であると提言している。

### 緊急3ヶ年

### 財政計画

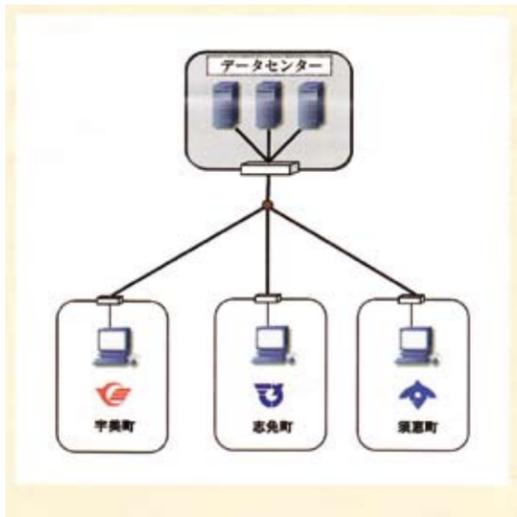
平成22年度当初予算を

基準年度とし、景気低迷による税収の減や、児童生徒の増加に伴う教育施設への対策に加え、国でも今後地方交付税制度、地方税制の見直しが予定されており、ここ3ヶ年を何としても乗り切っていかなければならない。そのためにも緊急3ヶ年の計画をたて、財政フレームを作るとのことです。人を減らせばよしとする安易な考えでなく、職員の人材育成を将来を見

据えしつかりやるべき、受益者負担を増やすだけでなく、収納率向上への取り組みもしつかり計画すべきと要請している。

### 宇美・志免・須恵 業務システム 再構築事業

本事業に係るシステムリース契約の業者選定方法などについて、3町協議を行った。宇美町を幹事町とし、指名競争入札または随意契約の手續により、契約を行うとの報告を受けた。



▲3町共同による電算業務イメージ図

## 厚生常任委員会



▲福祉巡回バス シーメイト前バス停

### 総合福祉施設の運営

シーメイト駐車場の有料化と福祉巡回バスをコミュニティバスとして、100円ぐらい料金を取ってはどうかとの住民の声もあり、議論している。

### 第2期障害者福祉計画 障害者の就労支援

以前より提案していた障害者の就労支援の説明会を障害者就業・生活支援センターと協力し、商工会だけでなく企業にも協力を呼びかけ、22年度に実施すること。厳しい経済状況の中で障害者の働く場も難しくなっており、まずは一歩を踏み出すことができたことを委員会として評価している。

### 国民健康保険税 収納体制づくり を要請

国民健康保険の収納率が低いことが問題となっている。平成20年度85.3%で全国平均より下回っている。払う能力のある人からはきちっと徴収し、家庭状況によっては福祉になく体制づくりが心要である。

### 学童保育待機問題

現在の待機児童は0人だが、毎年度初めに待機があり、夏休み以降は少なくなる傾向がある。年度初めの待機解消と今後の定員割れ状況とのギャップをどうするか、今後協議していく。

# 委員会報告 (調査・研究)

# 町の重要な課題

## 建設常任委員会



▲下水道工事(亀山工業団地)

### 下水道特別会計を 公営企業会計に移行

工事業も終わりに近づき、百数億円の起債を抱えている。経営内容の把握、分析ができるように要請。

### 都市計画街路志免 宇美線の促進

宇美町側の用地買収予定面積は、約2万3260㎡で21年度末までの買収面積は1万7830㎡で77%の買収率。1工区7年の事業計画だったが、

### 上水道事業の経営

給水人口の伸び、水洗化率の上昇に対し、不況による大口受給者の水控え、料飲店等の需要減、一般家庭の節水があると推測している。

### プラスチック製容器 包装類製品比率 82%まで向上

志免町のプラスチック製容器包装類の分別が悪いとの指摘を受けたこともあり、啓蒙啓発に努めた結果、要望や苦情はほとんどない。搬入量も減少している。今後も製品比率を上げるため啓発の必要がある。

## 議会運営委員会

### 町長報告を要請

町長の町政担当任期残り1年の総仕上げとして議会初日に施政方針を行うべき。また、政権が変わったことにより町政への影響、県町村会の事件等、町民の関心も大きく町政報告をすべきとの全会一致を受け、議長より町長へ要請した結果、町政報告をすることになった。

22年度も21年度同様議

長を除く全員による予算特別委員会を設置することとなった。

### 議員定数問題を検討

議員定数問題について近隣町も削減を行っており、町民から請願の動きもある。これらの状況を考慮し、どういう形でこの問題に取り組みかその方法等について、これから審議を始めていく。

### 素案完成

議会基本条例については素案ができ上がり、閉会中に審議し6月議会には上程できればと思っている。

## 志鉦跡地対策特別委員会



自然活用型のボタ山開発の整備方針に従い、3町の委員が、共同の認識を持つため視察実施に向けて、須恵・粕屋町との調整を行っていく。またSNC(株)に貸し付けている用地の一部(約5,088平方メートル)が返還。